



明石市立江井島中学校通信

しまっかが宝

令和2年
(2020年)
5月25日
第2号

学校長 植垣 文夫

年度が改まって、4月7日に明石市内全42校で新年度の始業式が行われました。生徒のみなさんにとっては、3月24日の修了式以来、約2週間ぶりの登校でした。

本校では、先生がたのアイデアにより晴天の下、運動場で始業式をしました。

ところが、市内や周辺市町で新型コロナウイルス感染症PCR検査の陽性反応がみられたことや、兵庫県内罹患者数が増加していくことなどによる市民や保護者の不安を受けて市



は、この日の午後になって5月6日までの全校臨時休校を発表しました。しかし、翌日の入学式は「3つの密」を避けることによる感染症対策を行うことで予定どおり実施する方針が出されました。

本校では、体育館前に消毒液やマスクを準備したうえで新入生席や保護者席の間隔を離し、4月8日(水)に第44回生の入学式を体育館で行い120名の仲間を新しく迎えました。生徒会役員

の先導で緊張した面持ちの新入生が入場します。男女混合名簿による順番で整列する初めての入学式です。新入生確認のために担任の先生が名前を呼びます。新入生はその場に立ちます。呼名がクラスごとに進んでいきます。つぎに、学校長式辞、来賓のPTA会長さんの祝辞、生徒会(在校生：) 歓迎の言葉、新入生代表() の言葉と続きました。代表の生徒の皆さんが発する言葉は落ち着いて一言一言が私たちの

胸にしみこんできました。

式典終了に伴い新入生は式場を後に、それぞれの教室に入っていました。恒例の学級開きと必要書類等の配付です。従来でしたらお越しいただいた保護者の皆様にもお子さまの学級の様子を見ていただくのですが、今年は「3つの密」を避ける意味から保護者の皆様には体育館での職員紹介や事務説明会に参加いただくことになりました。



5月6日までが休校期間でしたが、当初は健康観察、個人相談、課題の確認、配付のために登校可能日を設けていました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため4月14日から毎週火曜日に予定されていた登校可能日もなくなりました。

世界人類が今までに遭遇していない局面を迎え、国、地方自治体、民間企業、集団、個人を問わず、何もかもが初めての経験と対応でした。それでも、困難な状況でしたが、戸惑いながらも前を向いて、本校の先生たちも生徒の皆さんとの再会に向けて、企画委員会、職員会議を重ね意見を出し合いました。その後、国の緊急事態宣言、特定警戒都道府県指定を受けて、休校期間は5月末日までとなりました。

5月21日、政府は新型コロナウイルス特別対策措置法に基づく緊急事態宣言に関し、大阪、京都、兵庫の近畿3府県で解除しました。解除は14日に続いたの2回目でした。合計42の府県が対象から外されました。しかし、依然として5つの都道県が規制下に置かれています。事態は終息したわけではありません。政府も「新しい生活様式」を提案しています。気を引き締めてこれからの生活を送りましょう。

下の職員集合写真は、奇しくも最初の登校可能日となるはずだった4月14日に桜の木を背景に撮影した写真です。この日は朝から風が思いのほか強く吹いていました。

